バイキング、2028年に「バイキング・ネプチューン」で日本発着クルーズを実施

2026年シーズンの好調な実績を受け、2028年の日本発着クルーズ実施を決定

東京（2026年6月2日）– バイキング（www.viking.com）（NYSE: VIK）は、本日、バイキング・エデンによる日本市場向け2026年クルーズシーズンを終了したことを発表いたしました。

2026年シーズンは、日本発着クルーズ開始以来、過去最高となる日本人乗客数を記録しました。さらに、多くのリピーターのお客様にもご乗船いただき、複数回にわたりバイキングのクルーズをご体験いただくなど、高いご支持をいただきました。

また同時に、バイキングは2028年に「バイキング・ネプチューン」を日本へ配船し、日本発着クルーズを再び実施することを発表いたします。

2028年シーズンは、日本のお客様専用として運航され、バイキングが誇る受賞歴のあるクルーズ体験を、日本のお客様のためにさらに磨き上げた形でご提供いたします。日本の魅力を深く味わう厳選された航路に加え、外国客船としては最大規模となる日本語対応クルーを配置し、これまでにない快適さとおもてなしをご提供いたします。

バイキング・ジャパン代表のトレイ・ヒッキーは次のように述べています。
「多くのリピーターのお客様とともに2026年シーズンの成功を祝えることを大変嬉しく思います。日本市場に対する私たちのコミットメントはこれまで以上に強く、今後も日本のお客様に特別な体験をご提供してまいります。2028年にはバイキング・ネプチューンで再び皆様をお迎えし、『For The Thinking Person™（知的好奇心あふれる大人のためのクルーズ）』を体現する特別な体験をご提供できることを楽しみにしております。」

バイキング・ネプチューン：大きな発見のために設計されたコンパクトサイズのオーシャンシップ

バイキング・ネプチューンは、没入感あふれる旅を実現するために特別にデザインされた、バイキングの受賞歴を誇るオーシャン・クルーズ客船の姉妹船です。465室の客室に最大930名を収容できるコンパクトなサイズで、よりリラックスして快適に過ごせる環境を提供します。また、その船体の大きさを活かし、大型船では寄港できない寄港地へもアクセスできる点が大きな特長です。

2022年にイタリアの造船会社フィンカンティエリによって建造されたバイキング・ネプチューンは、北欧モダンを基調とした洗練されたデザインと世界水準の設備を融合。全室ベランダ付きの客室、明るく開放的なパブリックスペース、和食をはじめとした多彩なダイニング・オプションを備え、船上での体験をさらに豊かにします。

バイキング・オーシャンシップ

バイキング・ジャパンについて

バイキングは2024年に日本オフィスを開設しました。長年クルーズ業界に携わってきたトレイ・ヒッキーが代表を務めています。

バイキングについて

バイキング（NYSE: VIK）は、体験型旅行分野における世界的リーディングカンパニーです。100隻を超える船隊を擁し、21の河川、5つの海洋、そして世界7大陸すべてを巡る旅を提供しています。科学、歴史、文化、食に関心を持つ知的好奇心旺盛な旅行者のために設計された旅を提供しており、取締役会長のトースタイン・ハーゲンは、バイキングの旅を「For The Thinking Person™（知的好奇心あふれる大人のためのクルーズ）」と表現しています。バイキングはこれまでに450を超える賞を受賞しており、2025年の『コンデナスト・トラベラー』誌の読者投票では、5年連続で「リバークルーズ部門第1位」「オーシャンクルーズ部門第1位」に選出されました。また、『トラベル＋レジャー』誌の「World's Best」にも選出されています。この2大旅行誌の両方から同時に同様の栄誉を獲得した単一企業は、バイキング以外に存在しません。

詳しくはvikingcruisesjapan.comをご覧ください。
受賞歴を誇るバイキングのカルチャー・チャンネルは www.viking.tv にてご覧いただけます。

メディア素材・お問い合わせ

バイキングに関する詳細情報やお問い合わせは、以下までご連絡ください
バイキング広報窓口 Email : viking-pr@parthenonjapan.com